

# トキよ大空へ

# 祝 放鳥トキのひな誕生!!

## ひな誕生までの歩み

4月22日、環境省は市内の放鳥トキから、ひなが誕生したことを発表しました。自然界でのふ化は36年ぶりのことで、その興奮と喜びは、全国に広がりました。

江戸時代には全国的に生息していたトキ。乱獲などで激減し、昭和27年に国の特別天然記念物となりました。平成15年、日本産最後のトキ「キン」が死亡し日本産は絶滅しましたが、11年に中国産ペアから国内初の人工ふ化によるひなが誕生し、飼育数は順調に増えました。人工繁殖したトキを自然界に戻す取り組みは20年9月に始まり、これまでに5回の放鳥が行われました。初放鳥以来、営巣・産卵までは確認されましたが、ふ化には至りませんでした。このたび、皆の期待に応えて、自然繁殖により「2世」が誕生したことは、トキの野生復帰に携わる多くの方々の努力が実を結んだものです。

## ひなの愛称が決定しました

市報連載「トキ 野生復帰にむけて」(P.21)に、掲載しています。今後も、皆さんにトキ関連情報を発信していきますので、どうぞご覧ください。

## 喜びの声

長期にわたり、トキに関心を持ち、その取り組みに携わってきた市民の方から、このたびの自然界でのひな誕生について、メッセージを寄せていただきました。



## 全校でトキについての学習に取り組む

佐渡市立行谷小学校

(左から) 6年 本間 日那さん「36年ぶりのふ化という文字を見た時、すごくビックリしてとてもうれしかったです。これからは、もっと環境に気をつけたいです。」

6年 斎藤 瑞樹さん「これまで何回も野生ふ化は失敗していたけど、やっとうまれてうれしかったです。トキ解説員は難しいけど、積極的に解説できるよう頑張ります。」

校長 川上 治男さん「ひな誕生の翌日、環境省の川瀬自然保護官を招いて話を聞く機会があり、トキ解説員時の参考になる話をたくさん聞くことができました。『佐渡の空に再びトキを』を合い言葉に、これからもトキの学習を通して、自然環境に興味を持ち、自分たちの住んでいる佐渡をもっともっと好きになってほしいと思います。」

